

丸和運輸 純利益36%増

4～6月期 ネット通販など好調で

物流業大手の丸和運輸機関（吉川市）が3日発表の2020年4～6月期連結決算は、純利益が前年同期比36・6%増の15億9800万円だった。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、大手インターネット通販の宅配需要を取り込んだほか、食品スーパー向

けの食品物流も好調だった。コロナ禍で「巣ごもり消費」が増えたことも寄与した。

売上高は14・0%増の267億7200万円、営業利益は36・7%増の22億3900万円。各部門別でみると、医薬・医療物流では配送を受託する大手ドラッグストアで収益をけん引するインバウンド（訪日外国人）の来日数が激減した余波で化粧品などの需要が急減。時短営業などの余波も受け、物量が減少した影響が出た。

一方でEC（電子商取引）部門は伸長。コロナによる3月の一斉休校や外出自粛の影響「巣ごもり消費」が拡大し、個人宅向けの配送量が前年同期より2割以上増加。エリアの拡大や車両台数の増加も進み、売り上げが増えた。食品

物流は巣ごもり消費の拡大による物量増加で、食品スーパー向けが堅調だった。

21年3月期の連結業績予想は据え置いた。

同日、和佐見勝社長が従業員約1万人に総額10億円を、

10月までに贈与すると発表した。コロナ禍で物量が急増し、業務負担が増えたことを労うため、決定した。個人資産から捻出する。贈与は保有の自社株式を贈与した18年以來、2回目。（小林哲伸）